

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2013-530404(P2013-530404A)

【公表日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-040

【出願番号】特願2013-517458(P2013-517458)

【国際特許分類】

G 01 N 33/543 (2006.01)

【F I】

G 01 N 33/543 5 4 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月24日(2014.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

溶液中の相互作用を検出するための方法であって、

(a) 溶液中に、少なくとも1つの第1の物質と、好ましくは前記第1の物質と相互作用し得る少なくとも1つの第2の物質とを導入するステップ、

(b) ステップ(a)で得られる溶液中に、少なくとも2つの磁気又は磁化可能粒子を導入するステップであり、前記粒子が前記溶液内に浸漬される表面上に存在する、ステップ、

(c) 前記粒子が動くように設定される電場、磁場又は電磁場の適用により前記物質間の相互作用を決定するステップであり、前記物質間の相互作用が、前記表面上の前記粒子の移動性が変化する場合に検出される、ステップ、

を含む方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法であり、前記少なくとも2つの磁気又は磁化可能粒子が、独立して、電荷を帯びた、磁気若しくは磁化可能粒子、又は少なくとも1つの磁気又は磁化可能層でカバーされている粒子である、方法。

【請求項3】

請求項1又は2のいずれか一項に記載の方法であり、前記少なくとも2つの粒子が、パルス化電磁場にさらされる、方法。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一項に記載の方法であり、前記移動性のシフトが、前記電場、磁場又は電磁場の影響下での前記粒子の移動の加速である、方法。

【請求項5】

請求項1乃至3のいずれか一項に記載の方法であり、前記移動性のシフトが、前記電場、磁場又は電磁場の影響下での前記粒子の移動の減速である、方法。

【請求項6】

請求項1乃至3のいずれか一項に記載の方法であり、前記移動性のシフトが、前記電場、磁場又は電磁場の影響下での前記粒子の軌道の変化である、方法。

【請求項7】

請求項1乃至3のいずれか一項に記載の方法であり、前記相互作用が、前記電場、磁場

又は電磁場の影響下での前記粒子のクラスタ化により検出される、方法。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の方法であり、前記相互作用が、前記電場、磁場又は電磁場の影響下での前記粒子の非クラスタ化により検出される、方法。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の方法であり、前記相互作用が、前記電場、磁場又は電磁場の影響下での前記粒子の分散により検出される、方法。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の方法であり、前記少なくとも 2 つの粒子が、動きを検出するために光源によって照射される、方法。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の方法であり、前記少なくとも 2 つの粒子が、シグナル生成粒子である、方法。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 のいずれか一項に記載の方法であり、前記第 1 の物質が、真核細胞、原核細胞、膜、ウイルス、タンパク質、抗体、抗原、化学分子を含む群から選択される、方法。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 11 のいずれか一項に記載の方法であり、前記第 2 の物質が、真核細胞、原核細胞、膜、ウイルス、タンパク質、抗体、抗原、化学分子を含む群から選択される、方法。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 のいずれか一項に記載の方法であり、ステップ (a) の代わりに、先行の

(a') 前記第 1 の物質を容器の表面に付けるステップ、

(a'') 前記容器に溶液を導入するステップ、及び

(a''') 前記第 1 の物質と相互作用し得る少なくとも 1 つの第 2 の物質を導入するステップ、

を含む方法。